

環境監査報告書への対応

ならコープの2020年度の環境に関する取り組み全般について、前進面への評価と、今後の取り組みにあたってのご意見・ご提言を賜り、深く感謝申し上げます。ならコープグループ役員一同、環境負荷の低減と地球温暖化防止を中心とした持続可能な循環型社会構築の取り組みを、組合員とともにすすめてまいります。今回の監査で評価いただいた内容を励みとし、「環境監査報告書」でご指摘いただいた内容については、真摯に受け止め、以下のように対応いたします。

環境問題に関する情勢は大きく変化、想定を上回る水害や干ばつが全世界で起こり、私たちの生命や財産を奪う事態になっています。新型コロナウイルス感染は、経済のグローバル化や地域のボーダレス化、地球環境破壊の流れが感染拡大に拍車をかけたといえ、人類活動への警鐘と考えられます。

ならコープでは、2030環境ビジョンを組合員とともにすすめ、奈良県全域の環境保全に取り組んでまいります。2030環境ビジョンは、ならコープにかかわるすべての関係者のビジョンでもあり、未来への約束です。「子どもや孫のために美しい地球と自然を残してあげたい」という、純粋な想いと倫理観を広げ、事業・活動・運営の中で、プラスチックや食品ロスを減らすことに努力してまいります。

<ご意見についての対応方針>

1. 地球温暖化や南海トラフによる大規模災害への備えとして（一社）かわかみらいふ（吉野郡川上村）に導入した太陽光発電と蓄電システムを天理市や天川村など自治体と協議し、災害時の電源確保に貢献します。また、奈良県が保有する豊かな森林・水資源を活用した再生可能エネルギーの拡大に自治体や地域の方々と連携して取り組み「ならコープでんき」の脱炭素化をすすめます。「ならコープでんき」は2,500件の拡大に取り組み、組合員家庭のCO₂排出削減に貢献します。
2. 2021年秋に予定するコープ学園前の改装では、最新式の冷蔵冷凍ショーケースへの入替、太陽光発電で発電した電気を自家消費することで電気使用由来のCO₂排出を削減します。ガソリンや軽油など化石燃料使用量削減に向け、EV配送車両導入を2022年度実施を目指し情報収集を行います。
3. プラスチック容器包装材削減では、日本生活協同組合連合会やコープきんき、取引先と協力し、プラスチック包装材を「減らす（リデュース：省く・小さくする・薄くする）」「繰り返し使用する（リユース：詰め替え用企画商品の継続）」「再資源化・再生（リサイクル：回収PETボトルなど再生資源を原料とする包材の利用）」「植物性由来素材利用（バイオマス：植物由来プラスチックの利用）」をすすめています。合わせて、コープみみなしに実験導入したプラスチック・電気を使わない“傘の滴とり機”の全店舗展開、ノントレー包装機をコープ学園前、コープみみなし、コープなんごう、コープ七条に導入、お弁当の蓋やサラダなどの透明容器の回収、プラスチック包装材削減と再資源化を組合員参加ですすめてまいります。
4. コープSDGs行動宣言のもと、持続可能な社会の実現に向けて行動してまいります。エネルギー問題やごみ問題（食品ロスや海洋プラスチック）などの、自然生態系に与える影響の大きな問題と同時に、貧困・ジェンダー・健康・福祉などの未だに大きな格差が解消されず残っている社会的問題の解決を組合員・職員がともに学びエシカル消費の視点で広げてまいります。
5. 奈良の豊かな自然を守る取り組みでは、自然体験を通じた「環境教育（生物多様性や里山保全）」「資源循環型社会の形成」を実践します。「吉野共生プロジェクト」は地域資源を有効に活用し、奈良県で住み続けられる社会づくり、地域経済に貢献できるよう継続して取り組んでまいります。これらの環境保全活動を通じて温室効果ガスの吸収源である森林・里山の保全に貢献します。

以上